

(別紙5) 補助事業概要の広報資料

補助事業番号 2023M-092  
補助事業名 2023年度 福祉機器の整備 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人るうてるホーム

1 補助事業の概要

「ミスト式介助入浴設備」を導入することによって、入浴が身体的リスクとなりやすい高齢者に対し、より安心・安全な入浴ケアを提供する

2 予想される事業実施効果

心肺機能が低下するなどした高齢者にとって、入浴はリスクになり得る。そのため入浴ができない、もしくはできたとしても短時間での対応となっていた。当該機器はそのリスクを最小限に抑え、かつ安全で安楽な入浴ケアを行うことが可能となる。

3 本事業により導入した機器

①シャワーバス セレーノ (オージー技研株式会社)

<https://www.ruuteruhome.or.jp/archives/news/公益財団法人jkaの補助を受けてミスト浴を導入し.html>

【機器特色】

浴槽につかるタイプの介助機器ではなく、ミストシャワーが全身にかかることによって温浴効果が得られるタイプの介助浴機器。洗体も機器内で行うことができ、気温が低い場合でも体が冷えることなく、気温差による血圧の変動も起こりにくい。



ミスト式介助入浴設備



るうてるホーム玄関

設置場所：【特別養護老人ホームるうてるホーム】

(別紙5) 補助事業概要の広報資料

②本事業に係る印刷物等

法人報第14号 (中面: 事業報告・計画)

<https://www.ruuteruhome.or.jp/corporate/support-group>

[https://www.ruuteruhome.or.jp/wp-content/uploads/2023/08/houjinhou\\_no14.pdf](https://www.ruuteruhome.or.jp/wp-content/uploads/2023/08/houjinhou_no14.pdf)

2022年度事業報告・決算と2023年度事業計画

常務理事 石倉智史

2022年度は第3期中期経営計画の2年目で、組織強化を目的として事業部間で部長の異動を行い、引き続き組織活性化に向けた取り組みを行ってきました。

長年の経験であった給与規程の全面改定をし、人事評価に関する規程等を新たに設けて4月より導入しました。大幅な刷新をため、年度中は雇員集約を中心に制度の浸透に努めてきました。また積極的な業務改善と生産性向上のための、介護リフトやタブレットを活用した介護記録ソフトの導入、看護士の夜間オンコール外注への検討などをすすめてきました。

新型コロナウイルス感染症の市中での拡大により、11月には特養でクラスターが発生し、在宅サービスも複数の感染により事業を休止することもありましたが、事業所間の積極的な協力により、影響を最小限に留めることができました。しかし、このような状況にあっても利用ニーズには積極的に応え、過去の実績を超える事業やケアの質を下げないチャレンジを怠らない事業など、チームワークの向上が見られた一年でした。

財務状況は、水光熱費や食料費、ガソリン代などの高騰が相次ぎ、予算の見直しを余蘊なくされましたが、府や市などの物産振興対策補助金を一部充当し、経常増減率率は4.3%となりました。

2023年度は第3期中期経営計画の振り返り年にあたり、改めて私たちのビジョンとミッション

を全職員で共有し、事業活動すべての面でいてイノベーションを起こすべく、様々なチャレンジを行っていきます。

特に経営基盤安定化の面において、2024年度からの地域区分変更にもなる減収見込みは避けることのできない脅威です。備えるべきは、経営にさらなるスピード感をもって取り組む姿勢と、これまでにない意識改革をもとにした組織力、生産性の向上です。業務負担軽減のためのICT機器や介護機器の導入をはじめ、事業環境評価を継続し、具体的な解決に向けた取り組みを行います。大きなところでは、公益財団法人JICA様より特殊介護設備整備の補助をいただけることとなり、秋ごろには入居者の方々への入浴支援がより充実することが期待されています。

そして、自律性かつ信頼性の高い事業運営を目指すため、確固たる職業倫理と質の高い人間関係による専門的価値の醸成を通じて、社会福祉法人としてのブランド化をすすめていきます。そのためにも適切な人財体制の確保が急務となっています。人材獲得については年々困難さが増しているなか、実習生の獲得や職場体験などの受け入れなど、積極的な広販を通じて就職へのマッチングを図っていきます。特に今年度からは採用市場の現状と分析、広販に特化したプロジェクトを立ち上げ、既存の委員会との連携を強化した取り組みをすすめていきます。

2022年度決算概況  
(2023年3月31日現在) (単位: 千円)

資産の部		負債の部	
現金預金	269,262	短期借入金	30,514
事業未収金	291,946	事業未払金	22,749
人件補助費	90,919	短期借入金借入金	51,212
立金	4,361	預戻金	1,118
固定資産	1,911	引当金	18,889
固定負債	4,468	固定負債	1,009,765
繰上金	1,816,408	繰上金借入金	985,540
基本財産	1,246,878	退職給付引当金	40,228
土地	538,814	負債の部合計	1,099,338
建物	812,064	純資産の部	
その他の固定資産	469,530	基本金	815,533
建物什物設備・構築物	132,225	国庫補助金等特別積立金	281,018
車両運搬具・器具備品等	7,480	その他の積立金	168,816
投資有価証券	100,000	繰上金	155,734
その他の固定資産	228,642	繰上金(当年度増減額)	25,274
その他の固定資産	995	繰上金合計	1,109,431
資産の部合計	2,205,776	負債及び繰上金の部合計	2,205,776

事業活動計算書の要旨 (2022年4月1日～2023年3月31日) (単位: 千円)

科目	金額	科目	金額
介護保険収入	497,290	介護保険事業収入	497,290
老人福祉事業収入	80,137	老人福祉事業収入	80,137
施設支援事業収入	401	施設支援事業収入	401
障害福祉サービス事業収入	83,391	障害福祉サービス等事業収入	83,391
医療事業収入	4,574	医療事業収入	4,574
その他の事業収入	271	その他の事業収入	271
雑収入	3,785	雑収入	3,785
繰上金	689,739	繰上金	570
収入合計	436,884	収入合計	1,920
経常事業	89,450	経常事業	672,254
経常費用	58,637	経常費用	431,024
特別支援事業	1,138	特別支援事業	89,450
利用者負担軽減	0	利用者負担軽減	58,637
減価償却費	58,774	減価償却費	1,138
国庫補助金等積立金控除額	△9,139	国庫補助金等積立金控除額	7,347
繰上金	635,848	繰上金	3,785
繰上金	33,651	繰上金	84
繰上金	2,529	繰上金	587,880
繰上金	7,892	繰上金	34,844
繰上金	△4,067	繰上金	△110
繰上金	28,984	繰上金	62,623
繰上金	△110	繰上金	△57,732
繰上金	△110	繰上金	2,712
繰上金	△110	繰上金	7,980
繰上金	28,974	繰上金	△5,768
繰上金	△174,008	繰上金	28,445
繰上金	△159,734	繰上金	340,353
繰上金	△155,134	繰上金	366,958

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 社会福祉法人るうてるホーム (シャカイフクシホウジンルウテルホーム)

住所: 〒575-0002

大阪府四條畷市岡山5丁目19-20

代表者: 理事長 大柴讓二 (リジチョウオオシバジョウジ)

担当部署: 法人本部 (ハウジンホンブ)

担当者名: 常務理事 石倉智史 (ジョウムリジイシクラサトシ)

電話番号: 072-878-9371

F A X: 072-878-5293

E-mail: jimushitu@ruuteruhome.or.jp

U R L: <https://www.ruuteruhome.or.jp/>